

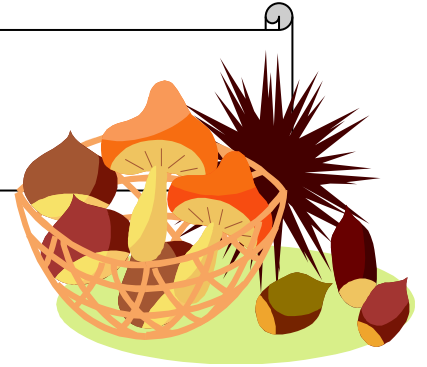
ゴ ク ロー サン
5 9 6 3 ハート通信

VOL. 55

竹原運輸株式会社

発行日 平成 25 年 9 月 15 日

★事務所スタッフからの一言



皆様、日頃は格別のご愛顧を賜りまして誠にありがとうございます。
心より感謝を申し上げます。

最近、何も変わったことをしていないのに調子がいい、という会社の話を聞いたことがあります。何もしていないということはありえないので、よく聞いてみると、

「お客様の要望に、自分の判断で極力応えてあげてください」という指示をしたそうです。

それまでは、会社の決めたマニュアルがあり、それ以上は勝手にしてはいけないルールになっていました。そこを変更して、現場の判断に任せました。

「経営の神は細部に宿る」という本があります。私はこの言葉がともしっくりきます。掃除をする、整理整頓する、靴を揃える、ちゃんと挨拶する、お客様のお役に立つことを真剣に考え実行する、人が見ていなくても丁寧に仕事する・・・。

一人一人が日々を丁寧に生きることで、会社全体が変わっていくのではないかと
そんな気がします。一人のスーパーヒーローが会社を引っ張るのではなく、チーム全体が

「当たり前のことを日々丁寧にやる」

大きな目標に向かって邁進する、というよりも、日々を丁寧に生きる、ということの方が日本人には向いている気がします。結果は後でついてくる・・・。だから、

「なぜか最近調子いいんですよ・・・。」

竹原和行

先日、知人との会話を通して会社のイメージについて考えさせられる出来事があった。

「竹原さんはタンク車しかないと思っていた」

と、知人から言われ、とても驚いてしまった。なぜそう思っているか尋ねると、答えは簡単で、

「会社にいつもタンクローリーしか止まっていないから」

なるほど、会社前の国道から見える場所には、タンク車がズラリと並んでいる。一般的なトラックも敷地内にはあるが、タンク車以外は、確かに道路から目立たない場所に止まっている。一目、会社を見た印象で言うと、LP ガス用タンクローリー車のインパクトが強烈過ぎるかも知れない。

いずれにしろ、その知人が竹原から受けるイメージは、タンクローリーなのだ。

この言葉を聞いた時、会社の営業面から考えると今の時代、これはマイナスなのかなと一瞬思った。

以前は『危険物輸送のエキスパート』みたいな感じで、他社との差別化をはかり、輸送面で信用・信頼のおける物流会社のイメージを持たれる事を大切に考えていたが、今の時代、このイメージでいいのか疑問に思った次第。

実はその知人は会社経営者。4トン車の貸切便需要がある、弊社からすると立派な見込客だ。その知人が、一般的な貨物便サービスは竹原さんにはないと思っていたことがわかり、これは会社にとって問題だと感じた。

そんなきっかけがあり、会社敷地内の車両駐車位置をどうすべきか、見直すべきか、このままでいくのか思案をしている。ただ、敷地が狭いので思い通りに車両を並べる訳にもいかず、色々な制約のある中、社内にて検討を始めた。

上記の例はほんの一例で、今後すべての面において改革、改善、見直しをはかっていかないと、とても会社を経営しているとは言えないなあと自戒している毎日です。

社長 竹原正和



『すぎ去る夏』

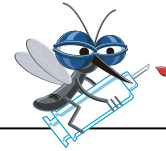
今年の夏は、異常気象の連続でした。高知県では最高気温 41℃を記録し、国内での最高を更新したり、猛烈な雨も各地に降らせ、熱中症の患者も最悪のペースで発病しました。

このような中で、小生にも最悪のハプニングが発生しました。窓を開けて寝ていたら蚊に刺されてしまったのです。蚊が狙っているのは、子供や若者だけが優先しているものだと思っていたら（高齢者の血はまずい）、小生も蚊に一人前に扱ってもらえて逆にうれしかった？

刺されたところをボリボリとかきながら思った。蚊はなぜ耳元で不快な羽音を立てて人間を襲ってくるのだろうか。静かに深く攻撃して来た方が余程小生の耳元に届かず、成功して数滴の血をゆっくりと吸えるのにも思った。

頭の上を平気で飛び交う蚊の羽音に苛立ち、目を覚まして電気を付けて蚊との一戦を交えて退治することに専念してしまった。蚊も脅すつもりで羽音で攻撃して来るのなら、小生はびっくりもしないし退散もしないし降参もしない。たかが数滴血を惜しむ訳ではないのだからとも思った。

色々な思いが脳裏に残った。今年の夏もゆっくりと過ぎ去り、次の季節の「秋」にバトンタッチをして行くのでしょう。



橋本 勝

『時』

今年の猛暑続きの夏もゆっくりと流れて行きます。確実に「時」は流れて行きます。いつの時代にも人々を悩ませ、苦しめ楽しませてくれているのが「時」です。

我々の業界での「時」は、厳しいものがあります。もし指定された時間にご商品をお届けしなければ、荷主様より不興を買い、それが重なって発生すると出入り禁止となってしまいます。

では、遅れまいと早めに商品をお届けしようとする荷主様側の都合で受付けてもらえず、指定された時間まで待機しなければなりません。指定時間より早く商品を着けてもいけないし、指定時間に遅れてしまうのはもってのほか。

時間の大切さを理解しながらも、どうしても「時は金なり」の意識が働く図式に振り回されているのが現実です。早く着き過ぎても待機を余儀なくされるこの現実、その時間の「無用の用」となるように乗務員に言っています。「体」を休めるなり、自分の時間を持ちなさいと ——。

「時は金なり」の教えは、古代ギリシャの利息の支払いの慣習から生まれたと聞いていますが、いつでも時間はいろんな意味で貴重です。それにも関わらず、日常生活の中で時間を無駄にしていることが多く有り過ぎ反省している昨今です。

残る年、月、時間も少なくなった私も、今ある精一杯の時間を無駄なく使いたいと思うこの頃でもあります。



斎藤 洋一

お盆休みが過ぎてから極端に涼しくなりました。とともに記録的な豪雨や落雷、竜巻などこれまでの日本ではあまり馴染みのない局地的自然災害が発生しております。被害に遭われた地域や方々にはお見舞いを申し上げます。自然のいいところだけを利用して具合が悪くなると目を背けてしまう・・・人間の傲慢さが明るみになったのではないかなと思います。人間の習慣や癖はなかなか元には戻りません。自然にも永年に亘り悪循環を繰り返してきた人間の営みによって破壊されているのですかね。文明の発達により得たものは何ですかね。最近の災害報道を見ると怖くてたまりません。

私はゴルフ（これも自然破壊？）が趣味で、コースへも練習場にもちよくちよく出かけます。ゴルフだけが付き合いのゴルフ友達もたくさんいます。先日、珍しく練習場で調子よく打っていましたがゴルフ友達（大先輩です）が指導（余計なお世話）をしてくれました。ほんの数分のことだったのですが・・・自分の元のスイングに戻れなくなってしまいました。人間の習慣や癖は・・・と冒頭に申し上げましたが私は数分の時間で吸収してしまい癖に戻れなくなってしまいました。（汗）次のラウンドはムチャクチャでした。（泣）自分のスイングができないのです・・・てことは指導前は相当悪いスイングをしていたんでしょうね。今は大先輩に感謝しています。でも・・・なかなかうまくいかず怖くてボールが打てません。自分に課せられた課題です。元々ゴルフは自分との闘いですからね。楽しく趣味を続けていきたいと思っています。

乗務員の運転の癖を見つけ指導するのも私の仕事です。これがなかなか難しい・・・。安全を見落としたり確認を忘れてたり様々です。同じルートで同じ荷物を運んでも同じ時間、同じ距離、同じ使用燃料でないのもその証拠です。みんな自分のスイングを持っているのです。悪循環にならないよう定期的なミーティングを開催して安全意識の高揚を図ったりレベルアップさせていくことも重要です。決して目を背けることなく一人一人大事な仲間として接していきたいです。怖いことは何ひとつありません。唯一無二の会社と仲間たちです。今日も安全+第一を考えております。



池上則和

いつも大変お世話になりありがとうございます。今年は昨年と比べ残暑が優しく感じられるのは、私だけでしょうか？暑さが和らいで、嬉しい反面、夏が終わる寂しさになんとなく包まれています。

涼しくなるのが早い年は、ビールの売れ行きが悪かったり、服飾が好調になったりと、毎年ニュースで報じられています。私は秋生まれですが、『これから秋が始まるゾー！』と思ったことは無く、気が付けば秋という感じです。

今月も話題に苦しみ、以前のハート通信を繰り返し読んでいたら昨年はインフルエンザの予防接種を受けに行こうとしている内容でしたが、今年はインフルエンザのニュース等少ないのでしょうか？読み返したおかげで今年も思い出せました。予防接種は比較的簡単に健康管理している気分になれるので、毎年欠かせません。

年を重ねる毎に身体が資本の度合いが増してきています。周囲の縁有る人を巻き込んで、一秒でも多く笑顔でいたいと考えております。



辻川 伸吾

爽やかな季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？ 日頃よりご愛顧いただき誠に有難うございます。

突然ですが、飛行機の事故率についてご紹介したいと思います。飛行機嫌いの人は、『落ちるかもしれない』というのがその言い分となっているようですが、飛行機は車、電車などよりとても安全で快適な乗り物です。その安全の目安として航空専門家によれば、『航空事故に遭遇する確率は統計的に見ればごくわずか。飛行機に毎日乗っていても、事故に遭うのは 438 年に 1 回』だそうです。また、『10 万飛行時間あたりの死亡事故件数=0.07 件』と、どんなものかよくわかりませんが、それほど安全なものだそうです。それを踏まえて、先日、福岡県八女市まで出張することとなり小松空港から飛行機を利用したのですが、その飛行機が小型(定員 78 人)プロペラ機でした。普通の飛行機を想像していた私は、その機体を見て、『これはやばいわ！落ちる確率 50%はあるな』と思いながら乗り込みました。指定された座席に座ると、真横にプロペラが見える場所で、よくよく見るとそのプロペラはかなりの年期が入っていると思われました。しばらくすると出発の為、エンジンがかかりプロペラが回りだしましたが、その回転しているプロペラがどう見ても歪んでいるように見えて仕方ありません。『これは真剣にやばいでないの』という私の気持ちに関係なくエンジンは徐々に出力を増し離陸してしまいました。これから 1 時間 20 分のフライトです。

飛行中、私はプロペラが気になって気になって仕方なく、ずっと『止まるなよ、止まるなよ 止まったら俺は死ぬぞ』と祈りながら座っていました。その甲斐あってか飛行機は順調に飛行し、あと福岡まで 20 分ほどの所で機内アナウンスが流れ『この先、積乱雲が発達しており機体はかなり揺れますが、飛行にはまったく問題はありません。シートベルトをしっかりお締め下さい』とのことでした。そのアナウンスが終わってすぐに機体は上下左右にかなり揺れ始め、その揺れは心臓をわしづかみされたような感じのもので、真剣に『落ちるんでないやろか』と思うほどでした。結局、落ちることもなく無事に福岡空港に到着いたしました。飛行機に乗った経験がそれほどなく、プロペラ機は初めてだった為、1 時間はかなり長く感じ、かなりの気疲れを致しました。プロペラ機は精神的にかなり怖ろしいものがありますが、それを含め飛行機の安全性は冒頭に紹介した通りです。

飛行機は嫌いではありませんが、どちらかというとなんか遠くても飛行機より自分の好き勝手ができる車のほうが好きだなと改めて感じました。みなさんはどうでしょう？

大橋 哲夫





最近は、分からない事があるとすぐに調べる事が出来る。欲しい物があればすぐに購入することができる。まるでドラえもんの四次元ポケットみたいになんでも取り出したり、調べたりできる非常に便利な時代になりました。

しかし、便利になった一方、問題点もいろいろ出てきています。インターネットの依存です。インターネットに依存することによって、人とかかわりをもたなくなったり、人との接し方の分からない人もいるそうです。また、文章の読み書きができない人も増えています。電子メールの普及により漢字の読み書きは機械がやってくれて、自分では読み書きのできない人もいます。さらには、自分の気持ちや感情を言葉で表現することのできない人もいます。メールでは、絵文字や顔文字といった記号で感情を表現する事もでき、言葉にしなくても感情を表現できるためです。その他にも人体への影響、視力低下や手の指の小関節の異常、電子機器の発する熱による低温火傷や電磁波による脳への影響などあります。分からないことを調べるにしても間違っている情報というのもたくさんあります。インターネットの専門家によりますと、「インターネットに出ている情報の約7割は間違った情報である」との事です。なので、見極めすることも大切かもしれません。

あげるときりがなくらい問題点もありますが、そうはいつでも便利なインターネット。自分なりに昔ながらの良い事も取り入れつつ、新しい事も取り入れつつ生活していくことが大切かもしれませんね。



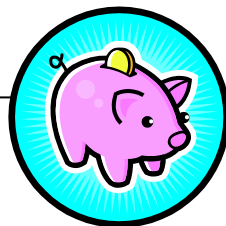
谷口 学

やっと暑い日が終り、一気に涼しくなり秋が来たという感じですね。体調を崩さないようにして下さい。

私ごとですが、今回何十年ぶりに人間ドックに入ることにしました。(10月には50歳ということで40代最後に・・・節目?(笑)) 普段歯医者ぐらいいか病院とは付き合いがないためか、何日前から反対に緊張して、体調が余り思わしくありませんでした。緊張し過ぎて、血圧が上がり、反対に悪い結果がでないかちょっと心配です。さ～て結果はどうなることか……。何十年も検査に行っていないつけがもしかしたら出るかもと不安を抱えながら検査に行く私です。

話は変わりますが、2020年東京にオリンピックが来ることになりました。朝テレビを観るとオリンピック一色でしたね。我が家でも、7年後「東京オリンピック観戦に行くぞ!」と言っており、改めて体調管理と貯金(をしなくてはと思っております)。

吉川 佳代



次回お楽しみに・・・

